

アンモニア燃アンモニア燃料供給船開発に向けた協業の MOU を締結

Consort Bunkers Pte Ltd、ダイハツディーゼル株式会社、Daikai Engineering Pte. Ltd.、一般財団法人日本海事協会 (ClassNK)、SeaTech Solutions International (S) Pte Ltd.はアンモニア燃アンモニア燃料供給船の共同検討に関わる MOU (基本合意書) を締結しました。シンガポールで開催されている展示会「Gastech2023」において、シンガポール海事港湾庁 (MPA) 立ち合いのもと MOU の調印が行われました。

船舶の脱炭素化に向けてアンモニア燃料の活用が期待される中、アンモニア燃料船に燃料供給を行う船舶がサプライチェーンにおいて不可欠な役割を果たすこととなります。このような船舶についても、燃料としてアンモニアを用いることが想定され、人体への毒性や材料に対する腐食性といったアンモニアのリスクに対応し、安全かつ効率的にアンモニアを輸送、他船へ供給、また燃料として使用できる船舶の開発が求められています。

世界最大の燃料供給港であるシンガポールで燃料供給船を運航する Consort Bunkers、アンモニアをはじめとした代替燃料機関を開発するダイハツディーゼル、東南アジア地域で船用機器の販売、アフターサービスに携わる Daikai Engineering、船舶の安全性評価に従事する船級協会である ClassNK、代替燃料機関を搭載した船舶設計を行う Seatech Solutions International は、アンモニア燃機関を搭載したアンモニア燃料供給船のコンセプト設計ならびに基本設計承認 (AiP) 発行に向けた検討を共同で実施することに合意しました。今般締結された MOU の下、5者が各々の知見を結集し、船舶の脱炭素の実現を目指した協業に取り組んでまいります。

以上

【お問い合わせ先】営業統括本部 船用事業部
前田

経営企画室 広報担当

e-mail : soumu.info@dhtd.co.jp

